

精神科薬物療法認定薬剤師認定申請資格

平成20年7月26日

1. 精神科薬物療法認定薬剤師

以下の全てを満たす者は認定を申請することができる。

- (1) 日本国の薬剤師免許を有し、薬剤師として優れた見識を備えていること。
- (2) 薬剤師としての実務経験を5年以上有し、日本病院薬剤師会あるいは日本薬剤師会の会員であり、かつ、別に定める学会のいずれかの会員であること。
- (3) 日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師、日本医療薬学会認定薬剤師、薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度による認定薬剤師、あるいは日本臨床薬理学会認定薬剤師であること。
- (4) 申請時において、精神科を標榜する病院または診療所に引き続いて5年以上勤務し、精神科薬物療法に直接従事していること（所属長の証明が必要）。
- (5) 日本病院薬剤師会が認定する精神科領域の講習会、及び別に定める学会が主催する精神科領域の講習会などを所定の単位（40時間、20単位）以上履修していること。
- (6) 精神疾患患者への薬剤管理指導の実績が50症例以上（複数の精神疾患）を満たしていること。
- (7) 病院長あるいは施設長等の推薦があること。
- (8) 日本病院薬剤師会が行う精神科薬物療法認定薬剤師認定試験に合格していること。

附則

- 1) 精神科薬物療法認定薬剤師認定申請資格は平成20年4月1日より施行する。
- 2) 平成20年6月7日改定
- 3) 平成20年7月26日改定

別添

精神科薬物療法認定薬剤師認定申請資格に関する事項

1. (2)、(5)で「別に定める学会」とは、以下の通りである。

- 日本医療薬学会
- 日本薬学会
- 日本臨床薬理学会
- 日本精神神経学会
- 日本神経精神薬理学会
- 日本臨床精神神経薬理学会
- 日本生物学的精神医学会
- 日本病院・地域精神医学会
- 日本社会精神医学会
- 日本老年精神医学会

2. (5)で「日本病院薬剤師会が認定する精神科領域の講習会」とは、以下の団体が実施する講習会である。

- 日本病院薬剤師会
- 各都道府県病院薬剤師会